



経営改善

工場の整理整頓と意識改革で 作業効率化と生産性向上を実現



「5S活動を継続し、その先の生産性や付加価値向上に繋げていきたい」と語る5S活動の中心メンバーと相談者（前列中央：青島良晃取締役）

拠点名	静岡県よろず支援拠点	業種	製造業	従業員数	～100人
-----	------------	----	-----	------	-------

会社概要

株式会社バルバー二

代 表 者：代表取締役 秋山 浩二（あきやま こうじ）

住 所：〒437-1111 静岡県袋井市中新田字浜野1800-1 電話番号：0538-23-6651

事業内容：平成29年、家庭用家具やシステム家具などを手がける会社から資産および営業権の譲受を実施して事業を開始。「人にやさしい」「環境にやさしい」をキーワードに木工品および家庭用家具や公共用家具の資材加工から塗装、梱包出荷まで一貫生産・販売を行う。



営業権譲受により事業開始したものの 旧体質から脱却しきれない職場に危機感

家具製造・販売会社から営業権譲受を経てスタートした同社。相談者は、営業権譲受後も工場が旧体質から抜けきっておらず、現場の整理・整頓・清掃ができていないとの問題意識を持っており、袋井市役所産業振興課に相談。同市役所は以前より当拠点と連携していたことから、この案件について共同で支援していくこととなった。



「5S」の基本ができておらず 5Sの徹底と社員全体の意識向上が課題

Coは実態把握のため、同市役所の担当者とともに工場を巡察。その結果、工場内に長年使用していない設備や装置、棚、工具等がたくさんあり、部品棚には表示もない。また、作業機械周りにはおが屑が積もっているなど、職場環境改善活動の第1ステップとして考える「5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）」の中でも、基本となる「3S（整理・整頓・清掃）」ができていない状態であることがわかった。また、管理者を対象に行った「5S」の基礎診断（5Sチェックシート）も非常に低い点数であったことから、「工場内の5S徹底」と「社員全体の意識向上」が課題と判断した。



全社員対象セミナーを実施して意識を高め 定期パトロールで問題点を可視化

Coは、まず管理職やリーダーの「気付き」を促すために、どのような課題があるか検討してもらった。また、全社員を対象に、「5S」の必要性についての講演「5Sセミナー」を実施。現場では、「3S」から始めて、社員による不要物の徹底処分と清掃を行った。さらにCoが毎月1回以上、「5S」パトロールを行い、問題箇所にその場で赤タグを貼って指摘し、改善できたら赤タグを外して可視化した。加えて、「3定（定位、定品、定量）」を徹底するため、棚の番号化、製品名や数量の表示などを実施した。



「3定」を実行した例



作業スペースが拡大し ムダな動きも改善され生産性が3%向上

「5S」の重要性を全社員が認識し、「3定」の徹底によって作業スペースが拡大。さらに、棚や製品を整理することによってムダな動きが改善され、生産性が3%も向上した。現在は週に1回、部署ごとに「5S」の時間を設けて、それぞれの目標に応じて活動中。さらなる生産性や付加価値向上に繋げるべく、工場の「IoT（Internet of Things:物がインターネットのようにつながる仕組み）化」など、次なるステップへ向けて邁進している。



「5S掲示板」を設置することで社員の意識が向上